みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.41
平成28年1月25日号
発行・岩手県西和賀町議会

12月定例会（12月16日～18日）

主な内容

・議長「年頭所感」……２Ｐ
・今冬の町の除雪体制……４Ｐ
・緊急質問「命を守るための道路管理を」…５Ｐ

夢をつかめ!! 夢にしわがっ児 Vol.27

西和賀高校吹奏楽部

常に、楽しさと正確さを心がけて

休日でも、これから行われる卒業式や春の演奏会、今年５月21日に行われる西和賀高校吹奏楽部定期演奏会などに向け、練習を積み重ねます。（写真は１月17日の練習のようす）

年頭所感

西和賀町議会議長　深澤重勝

輝かしい新年を迎えられました町民の皆様に、改めまして謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年の幕開けは、昨年・一昨年の大雪の幕開けから一転し、「サンダルを履いて年始回り」と言っても過言ではない少雪での年明けでした。雪が少ない事は、これほど楽なのかと改めて感じさせられた事でした。

昨年4月に行われた統一地方選で、我が町も議会議員選挙が施行され、新たに12人の議員が選出されました。その中で、不肖、私が議長の大役を仰せつかりました。

課題山積の中で、二元代表制の一翼を担い、議会機能を発揮しつつ、町と一体の態勢で西和賀町の発展と、町民の生活向上のため全知全能を傾け頑張らねばなりません。浅学菲才な者ですが何卒宜しくお願い致します。

さて、昨年は様々な面で大きな節目を迎えた年でした。戦後70年、お隣韓国との国交正常化50年、西和賀町誕生10周年、生命尊重の代名詞である深澤晟雄没後50周年など、それぞれ歴史的に途轍もなく大きな意味を持っているものと思います。その大きな節目から、また新たな歴史を刻むべく、我々はその時代に生きる運命を負っております。

「我々の時代」１９００年代初頭のフランス人哲学者、Ｊ・Ｐサルトルの言葉から「もっといい時代があるかもしれないが、これは我々の時代なのだ。人間はその生きる時代を精一杯生きるしかない。もっといい時代が他にあったとしてもその時代に生きることはできないのだから。これは時代だけでなく置かれた場所についてもいえる事である。」

もっといい場所があるかもしれないが、ここで精一杯生きるしかない。そして、その場所を桃源郷にすべく、みんなで楽しく頑張ろう。住民が力を合わせれば、どんな事でも出来る事を立証した歴史に学びたい。

行政需要は無限に近い。財源は限りなく有限である。何のため、どういう意味を持つ。常に深く念頭に置きながら行動し、事業を展開しなければなりません。持続できる農業基盤と農村基盤を創ることによって、西和賀全体が観光資源として更に輝きを増してくるものと思います。

所信の一端を申し述べ、皆々様の更なるご健勝を心からお祈り申し上げますと共に、西和賀町議会に対しましても暖かい叱咤激励を賜りますようお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

清吉稲荷から望む和賀山塊

町長行政報告

福祉バスの事故
長原牧場臨時職員の不適切事務 ほか

●工事請負契約変更の専決処分

工事請負契約の変更を専決処分しました。

1件目は町道下前小繋沢線道路改良工事（その3）で、金額を2522万9360円増額し、5685万3360円としました。変更内容は県道12号線の交差点の隅切り分を広げたことや伐採根の処分費を追加しました。

2件目は、町道内の沢線内の沢橋橋梁補修工事で、2796万8280円増額し、5933万6280円としました。変更内容は、当初橋の上からクレーン使用で床板ブロックを撤去する計画から、安全性を考え、桁下での撤去作業に変更したことから、敷き鉄板や大型土のうを追加したものです。

●福祉バスの事故

平成27年10月30日に実施された高齢者大学町外研修の帰りに、福祉バスが事故を起こし、参加者59人のうち12人が重軽傷を負い、病院に搬送されました。また、数日後に痛みを訴え、受診した方が3人発生しました。今回の事故に関して、心からお詫びします。

詳しい事故原因は、現在警察で調査中ですが、公用車の運転業務をこれまで以上に慎重に行うこと等、職員に注意を喚起しました。

●長原牧場臨時職員の不適切事務

長原牧場に勤務していた臨時職員が、牧草販売代金の一部を農家から現金で集金し、機械作業を行った農家に対しても現金で支払いを行い、残額を保管するという事務を平成25年度から27年度まで3年間に渡り行っていたことが発覚しました。

集金した金額は、3年間で39万9200円で、19万1600円を現金で保管していました。

発覚後、本人や関係する農家等からの事情聴取及び聞き取りから、集金金額と支払金額、残金の調査を行った結果、整合性はとれており、保管していた現金は牧場で使用する作業機械の購入を目的とした保管で、私的流用はないことを確認しています。

不適正な事務が3年間にわたり行われていたことなどを踏まえ、再発防止策及び関係者の処分を協議しました。臨時職員は、現在は退職していること、当人は平成12年から今年まで、夏期は長原牧場、冬期は除雪作業に従事と、ほぼ通年で町の臨時職員として勤務していましたが、本年度の除雪作業員には応募せず、職を失い、本人は深く反省していることなどを踏まえ、処分は行わないこととしました。

不適切な事務執行が行われていた期間に担当した職員2人と監督責任を怠った課長職2人に対し、平成27年12月9日付で厳重注意処分としました。

こういった事務処理が二度と起きないよう、平成28年度からの長原牧場の業務体制の見直しを行うとともに、サービス低下とならないよう対処するよう指示しています。

町民の皆様にご迷惑をかけたことをお詫びするとともに、信頼回復に向けて取り組んでいきます。

●廣瀬産業沢内工場の閉鎖

廣瀬産業株式会社沢内工場が、従業員の確保が困難となったことから、平成27年12月31日をもって工場を閉鎖すると廣瀬社長から報告を受けました。

今後の対応は、廣瀬産業株式会社と協議中であり、年内には工場建屋の活用などを含め契約関係の事務手続きを完了させます。

●国道107号の片側通行

土砂崩落で通行止めとなっていた国道107号が、平成27年11月28日午前10時に片側交互通行で開通しました。迂回路としての秋田自動車道通行料無料措置は、全面復旧までの間の継続を強く要望しましたが、同日をもって終了しました。

本格的な降雪の前に地域交通の確保という面では一歩前進しましたが、地域経済に及ぼした影響は多大でした。

本復旧工事は、雪解けを待って来春から実施することになっていますが、引き続き、町民の皆様に工事の進捗状況など情報提供を行います。

●定住自立圏形成協定の締結と共生ビジョンの策定

奥州市及び北上市と西和賀町との定住自立圏形成協定を、平成27年9月28日に北上市で調印しました。当日は奥州市、北上市及び金ヶ崎町との間でも同様の協定締結を行い2市2町による奥州・北上・金ヶ崎・西和賀定住自立圏が形成されました。

この締結を受け、定住自立圏の将来像や具体的な取り組みを定める定住自立圏共生ビジョンを策定するため、2市2町から選出した委員で奥州・北上・金ヶ崎・西和賀定住自立圏共生ビジョン懇談会を設置後、2回にわたる協議を経て共生ビジョンが策定されました。

●まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョンと総合戦略の策定

平成27年10月28日にまち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン及び総合戦略を策定しました。

人口ビジョンでは、2040年の人口目標を4400人とし、その目的達成のために、5つの基本目標を定めています。

総合戦略では、この基本目標を実現するための具体的な施策と目標数値を定めました。特に移住・定住人口の増加、交流人口の拡大に重点的に取り組むこととしており、町の総力を結集して人口減少対策に全力を尽くす覚悟です。

●ふるさと納税が1億円を超える

ふるさと納税が、平成27年12月10日現在で寄附件数1万1133件、寄附額1億16万1701円と1億円を超えました。

町では、平成26年11月から返礼品の贈呈、インターネット申し込み、クレジット決済などを導入して寄附を募ってきました。また、国道107号の土砂崩落による通行止めから、ふるさと納税ポータルサイトを通し、緊急災害支援のための寄附を募っていました。

全国各地からいただいた温かい応援をしっかり受けとめ、若者定住や子育て支援など様々なまちづくり活動に活用させていただきたいと思っています。

暖冬であれど、心配です
町の除雪体制はどうなっている？

平成27年12月1日に行われた除雪作業員辞令交付式のようす

12月定例会は、12月16日から12月18日まで沢内庁舎議場で開催し、平成27年度一般会計補正予算をはじめ16案件を審議し、原案のとおり可決されました。
平成27年度一般会計補正予算の審議で、特に質問が集中した除雪関係にかかる質疑のようすを要約してお知らせします。

【審議のようす】

作業員は十分な人数か？

刈田議員　除雪の人員は、目的としていた人数か。

建設課長　募集した段階では、おおむね56人を予定していた。できれば、58人採用したい考えもあり、声がけを行ったが56人の確保となった。建設課には道路維持管理職員が2人とオペレーターが1人の3人がいるので、全体で59人のやりくりの中で配置する計画だ。

建設課の新たな取り組み

刈田議員　非常に重労働で、きちっとした体制を整えるための人数確保がほしいと思う。また、やり手がいないとのことだが、それに対し、今後のために考えていること、検討していることがあれば聞きたい。

建設課長　今年の体制で変わった点や若干工夫した点は、従来まで貝沢は4人の方に委託をしてきたが、今年から基地体制にし、ドーザーのほか、ロータリーも配置した。
採用月日も12月1日からということで、採用内容やコスト的な部分などが県土木並みにはいかないが、若いオペレーターに魅力があるような職場にしながら、できるだけ将来に渡って、特に中堅のオペレーターにはずっと働いてもらいたいという意識付けをしている。
また、今年は新採用が非常に多く、何らかの形で意識付けをしたいということで、銀河ホールで辞令交付式を行い、その場で重機を用いた点検をし、できるだけ意識を付けながら、将来もオペレーターになってほしいという形にした。
オペレーターの養成や育成については内部でも検討しているが、具体的な方策ではなかなか妙案が出てこない状況だ。
いずれにしても、改善策をとりながら若い方々のオペレーターを育てていきたいという気持ちを持って対応していきたいと思っている。

平成27年度から基地体制になった貝沢基地

町道で起きないとも限らない

命を守るための道路管理、道路状況改善を

12月18日の本会議中に、早川久衛議員から、町内の道路状況と安全対策に関する緊急質問が出され、全員賛成（欠席1人）のうえで日程に追加され質疑が行われました。その様子を要約してお知らせします。

【質問の主旨】

12月12日に本町の生活路線である国道107号と県道1号線で死傷者を伴う事故が相次いで発生しました。町は生命尊重第一を全国にうたっており、命を守るうえでも道路状況の把握や管理は重要との考えから、事故後の取り組みと町道の現況を問いただしました。

事故の再発防止の呼びかけ

早川議員　まずもって、亡くなられた方々にお悔やみを申し上げたい。最近に無い大きな事故であり、今年は暖冬で道路状況も良いわけだが、たまにシャーベット状になり、危険な状況になる。町当局は、この県や国の道路管理者に対し、どのような処置を取ったのか聞きたい。

町長　事故が発生した国道107号並びに県道1号線の道路管理者は岩手県である。私どもは、この事故を受け、再発を防がなければならないということで、道路管理をしている北上市にある土木センターに来庁してもらい安全管理のさらなる徹底を要請した。

アクセス道の凍結防止対策

早川議員　適切な対応を感謝したい。今回は県道1号線や国道107号線だったが、私の見る限りでは、町道であまり融雪剤を使っていないと思う。特にも、湯本から穴明経由の小繋沢線のバイパスは交通量も多く坂もある。ここで融雪剤を使った経緯や今後何か考えているのか、今の事故を教訓に今後の対応を聞きたい。

建設課長　アクセス道は、確かに道路が広いということで、交通の確保は除雪等誠心誠意行っている。

今問題となっている道路の凍る部分の対応は、住民から特に寄せられている坂道は、融雪剤等の散布を地区住民にお願いしている箇所が2か所ある。沢内地区の坂は融雪装置がついている状況だ。

アクセス道は、私どもも交通量が多いということで、融雪剤の散布について、散布車を予算化しようと何回か試みたが、なかなか計上できなかった経緯がある。

今年は、雪が少なく凍結が心配されるが、道路管理上では、道路付近にある流れ水などの排水対応をきちんとやってきたつもりだ。そういう対応をしながら路面が凍らないよう工夫をしているつもりだが、自然が相手なので融雪剤散布等についても必要に応じて対応しなければと考える。

早川議員　西和賀町は、人命尊重第一の町であり、全国にも、うたっている。道路管理は住民の命を守るわけだから、一日も早く、このような道路状況を解決してほしいものだと思うが。

町長　十分な対応という線引きは難しいかもしれないが、不測のところを、今後はさらなる現場の調査や対応のあり方について徹底し、必要な資器材の検討をしていくということを進めさせていただきたい。

なお、今回の事故で道路管理者からの報告によると、現場では、午前3時過ぎ並びに午後3時過ぎに融雪剤を撒いているということもあったので、原則的には、やはり一人ひとりのドライバーに注意していただくことが重要ということも含め今後の交通安全対策に努めていく。

凍結防止剤を撒く散布車

湯本方面から小繋沢方面に望む冬のアクセス道。
坂とカーブが連続する道路です。

12月定例会

このように決まりました

審議の中身

平成27年度の補正予算 教育委員の再任 など

専決処分の承認

●平成27年度補正予算

承認 ▼全員賛成

平成27年11月28日の国道107号開通や道の駅錦秋湖の再開を県内外に周知するためのイベントの費用、雪の影響で数度破損修繕を繰り返している文化創造館屋根の修繕、沢内、湯田両トレセン及び川尻体育館の煙突に使用されたアスベストの測定や飛散防止対策を行うために、専決処分を行いました。

一般会計の歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ4482万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ67億3594万8000円としたものです。

◆審議のようす◆

107号通行再開のイベントでは

淀川議員　107号通行再開のイベント業務委託で、広く周知をしてオープニングをしたいということだったが、当日の状況はどのようだったか。

観光商工課長　県議会議員や北上市長、横手市長らを呼びオープニングセレモニーを実施した。

イベントでは、北上地区の鬼剣舞、地元の太鼓、横手地区の餅つきなどを呼びオープニングを盛り上げた。

文化創造館の屋根修繕

刈田議員　文化創造館の屋根の修繕で、やり直しなのか、また、修繕箇所は同じところなのか。

生涯学習課長　場所は、ホワイエ北西と北東の屋根で、屋根ぶきの形状をトタン1枚物に変える形にした。どうしても構造が谷状になっており、雪が押し合う形になって壊れるというのが数回起きており、今回はそのことの構造について業者に相談し、いろいろ調べてもらい、雪が自然に流れやすいような形に変えた。

刈田議員　別の設計と施工をしたことで、また壊れることの無いような設計や段取りを踏んでいるのか。

生涯学習課長　相談し、雪の流れがそうであれば、今までのような状態にはならないと思っての工事を行った。

沢内・湯田トレセン等のアスベスト対策

髙橋和子議員　煙突のどこの部分にアスベストがあったのか。塞いだということだが、これから飛散する心配はないのか。

学務課長　文部科学省から学校施設関係のアスベストの使用状況の緊急調査があった。アスベストを使用していると思われる耐火材、煙突の内部にあるものを図面等で確認したところ、今ある川尻体育館、沢内・湯田両トレセンと3つの施設でアスベストが使われている可能性があると判明し、分析業務を行った。

結果、アスベスト材を使用していることがはっきりわかったので、石綿障害予防規則に基づき、対策を行った。

行った箇所は、煙突の煙の出るところ、灰出し口、ボイラーと煙突の接続する部分を塞いでいる。大気中と今言った3カ所が空気と触れないような措置をしたので、アスベ

【表】　本定例会での平成27年度予算補正

項　目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	67億3594万円	787万円	67億4381万円	農地集積協力金交付事業 5098万円、ふるさと納税推奨事業 2967万円ほか
国民健康保険会計	10億1324万円	1613万円	10億2937万円	国民健康保険高額療養費 1001万円ほか
介護保険会計(保険事業)	11億2482万円	7632万円	12億114万円	地域密着型介護サービス給付費 2500万円、施設介護サービス給付費 3900万円ほか
介護保険会計(介護サービス)	1316万円	53万円	1263万円	介護予防サービス計画作成業務委託料　△53万円
簡易水道会計	22億1508万円	2億2036万円	19億9471万円	西和賀簡易水道施設統合整備事業　△2億2036万円
下水道会計	4億1106万円	70万円	4億1176万円	公共下水道施設管理費 70万円
農業集落排水会計	4995万円	307万円	5302万円	施設管理費 307万円
温泉事業会計	9427万円	36万円	9463万円	真昼温泉石油暖房機 22万円ほか
病院事業(収益収支)	9億6504万円	1550万円	9億8054万円	出張診療費 1068万円ほか

※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

○討論とは、各議員が議案に対して賛成、反対の意見を表明することです。

ストの飛散はないと思う。
いずれ大気と触れないような状態に全部囲い込みをしたので、問題ないというふうに思っている。

【専決処分とは】
緊急を要し、議会を開く時間的な余裕が無いときなど、いくつかの条件に該当する案件は議会を開かずに町長が議会に代わり意思決定をすることができるとされています。
この町長決定を『専決処分』と言います。専決された案件は、議会に報告し、承認を得なければなりません。

27年度の補正予算

- 一般会計
- 国民健康保険会計
- 介護保険会計
- 簡易水道会計
- 下水道会計
- 農業集落排水会計
- 温泉会計
- 西和賀さわうち病院会計

可決 ▼ **全員賛成**

6頁表のとおり、平成27年度予算を補正し、全て原案のとおり可決しました。

条例の制定

●農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

可決 ▼ **全員賛成**

農業委員会に関する法律が一部改正され、農業委員が選挙によらず、町長が任命することや、農地推進利用委員を新たに設置することになったことなどから、条例の一部を改正したものです。

◆審議のようす◆

農業委員と農地利用最適化推進委員の仕事の役割

髙橋到議員　農業委員と農地利用最適化推進委員の仕事の役割やどのような役目を負っているのか、詳しい説明を願う。

農業委員会事務局長　農業委員は農地法の3条、4条、5条による権限事務を、農地利用最適化推進委員は、各地域において農地利用の最適化を推進する形になっている。
農地利用の最適化とは、担い手への農地の集約、あるいは耕作放棄地の防止、あと農業への新規参入者の参入促進をいう。

髙橋雅一議員　最適化推進委員が問題を発見し、いろんな取り組みをして、話し合いをした。その結果上申した場合、農業委員会はそれを受けて、きっちりと受けとめて対処をしなければならないので、農業委員の責任はかなり増すことになるのではないか。

農業委員会事務局長　従来から農業委員はそういう義務づけなので、その部分で変わることはないと考えている。
最適化推進委員は農業委員会に出席することができる規定なので、そういった部分で積極的に農業委員会に参加してもらうということも必要かと思う、あるいは、どういう形になるかまだ決定はしていないが、最適化推進委員の会議を持ち、その中で話し合っていただくことも必要かと思っている。

●税条例等の一部改正

可決 ▼ **全員賛成**

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、町の徴収金の徴収及び換価の猶予に関し必要な事項を定めるとともに、国民健康保険税の税率の改正やマイナンバー制度の施行のため、条例の一部を改正したものです。

●介護保険条例の一部改正

可決 ▼ **全員賛成**

●マイナンバー制度が施行され、介護保険法施行規則に基づく申請事項等にマイナンバーの記載が追加されたことから、町が独自に様式を定めている申請書についても、国に準じて、申請事項等にマイナンバー記載欄を追加するものです。

人事案件

●教育委員の再任

同意 ▼ **全員賛成**

現在教育委員2期目の平藤壽子（ひさこ）さんが平成27年12月31日をもって任期が満了となることから、改めて教育委員として任命することに同意しました。
任期は4年間です。

平藤壽子（ひさこ）さん
（再任・左草）

みなさんの願い

●請願

・TPP交渉の大筋合意についての対応に関する請願

採択 ▼ **全員賛成**

【紹介議員】児玉正彦・髙橋到

【内容】TPPは、農林水産業において、特に生産基盤の弱い地方の経済や生活などへの影響が懸念されることから、生産農家が将来にわたり、営農に取り組めるよう農業政策の確立と地域経済を守る観点から国に対して意見書の提出を求める請願

【提出者】花巻農業協同組合　代表理事組合長　高橋専太郎さん

議員発議

●西和賀町議会会議規則の一部改正

同意 ▼ **全員賛成**

議会における欠席の届出の取り扱いで、社会情勢などの観点から、議員や議員の配偶者が出産する場合の欠席の届出を新たに追加しました。

●意見書の提出

請願で採択された案件は関係省庁や機関に西和賀町議会からの意見として意見書を提出しました。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。

私たちのくだした判断　第5回12月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に掲載しています。審議順ではありません。

番号		議案名（一部省略しています）	会議日	関連ページ	淀川豊	髙橋雅一	柳沢安雄	髙橋和子	髙橋輝彦	佐々木孝道	髙橋到	児玉正彦	刈田敏	早川久衛	柿澤繁俊	深澤重勝
行政報告、一般質問（４人）			12月16日	3ページ 9~15ページ												
一般質問（２人）			12月17日	9~15ページ												
承認	1号	専決処分事項の承認（27年度一般会計補正予算）		6~7ページ	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	1号	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例			○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	2号	税条例等の一部改正			○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	3号	介護保険条例の一部改正			○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	4号	27年度一般会計補正予算		4ページ 6~7ページ	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	5号	27年度国民健康保険特別会計補正予算		6~7ページ	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	6号	27年度介護保険特別会計補正予算	12月18日		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	7号	27年度簡易水道事業特別会計補正予算			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	8号	27年度下水道事業特別会計補正予算			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	9号	27年度農業集落排水事業特別会計補正予算			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	10号	27年度温泉事業特別会計補正予算			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
予算	11号	27年度西和賀さわうち病院事業会計補正予算			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
同意	1号	教育委員会の委員の任命に関すること			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情請願	7号	ＴＰＰ交渉の大筋合意についての対応に関する請願			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
発議	1号	西和賀町議会会議規則の一部改正			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
発議	2号	ＴＰＰ協定交渉の大筋合意についての対応に関する意見書書			○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「－」は採決に加わらなかったことを表します。また、深澤議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

※12月16日に産業建設常任委員会を、12月18日に広報編集常任委員会を行いました。

紙上クイズ　スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（３人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．平成27年度の除雪作業員採用月日は○○月１日です。（数字２ケタ）
2．西和賀町議会は、11月30日に○○町議会と交流会を行いました。（漢字２文字）
3．西和賀町では４月から児童○○医療費給付事業が始まっています。（漢字２文字）

前回号の答え　1．88　2．地域　3．北上

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。なお、匿名での受付はしません。

【応 募 先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】2月16日消印有効とします。

【発　　表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

【No.40の当選者の発表】
東海林陽子様（左草）おめでとうございます。

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

ここが聞きたい 一般質問

12月定例会では6人が一般質問しました

髙橋　和子 議員　@Nishiwagagikai

- 国保制度のその後と国保税の引き下げ
- 西和賀さわうち病院の運営
- 高齢者、障がい者の冬期間の居住対策
- 道路の問題

一般質問を終えて

弱者の暮らしを守るには、貧弱な国の制度の中で課題は山積み

刈田　　敏 議員　@Nishiwagagikai

- 西和賀高校の存続対策

一般質問を終えて

もう後がないと思う！

淀川　　豊 議員　@Nishiwagagikai

- 町政全般
- まち・ひと・しごと創生人口ビジョンと総合戦略

一般質問を終えて

いよいよ地方創成が始まる

佐々木孝道 議員　@Nishiwagagikai

- 農業振興に関する設備
- 災害、防災対策
- 我が町の地方創生のポイント的切り札とは

一般質問を終えて

ポイント的切り札を、是非、的を絞って応えてほしかった。

髙橋　輝彦 議員　@Nishiwagagikai

- 西和賀高校の存在意義
- 西和賀高校魅力化基金の活用

一般質問を終えて

西和賀高校は、生徒の夢をかなえられる学校。これが魅力！

髙橋　雅一 議員　@Nishiwagagikai

- 西和賀町人口ビジョン並びに総合戦略の町民への周知
- 農地対策
- 町の魅力化

一般質問を終えて

人口ビジョン・総合戦略は全町民あげての取組みが基本

議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。是非、生の議会をお聞きください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

・登壇順（質問順）

公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

質問

町民の負担軽減の国保税引き下げは基金で行うべき

基金は、新制度で予想される保険料の住民負担に充てる

今後の国民健康保険制度の動向が、どれだけ西和賀さわうち病院に影響があるのでしょうか。

国保税の引き下げ

質問 国保税を引き下げてほしいという町民の声を前回に続いて取り上げているが、県内でもトップクラスの基金を使って軽減すべきと思うが。

医療保険室長 現在の基金の保有額は1億6965万3000円で、県内では13番目、被保険者1人あたりでは10万5000円で県内で2番目の保有高になっている。

本町は、医療を必要とする高齢者が多く、新制度の医療水準で保険料に加算される対象となることを想定しており、毎回被保険者に負担を求めることは難しいので、基金を財源として対応したいと思う。

また、健康増進分野では、医療費の高い自治体に保険者努力制度というものができ、生活習慣病予防への努力をせよと保健指導の強化がある。県からの交付金では不足の見込みがあり、基金を充てて対応したい。

今回の条例改正の大枠では、市町村の負担軽減の部分もあるが、まだ高額療養費等は被保険者の方で半分出さなければならない制度になっており、高額療養費が保険料の算定に影響されると考える。

26年度の国保会計の剰余金は2100万円程だが、1400万円程は特別調整交付金が入った中での剰余金なので、精算せよと来ている。

平成21年度の改正のときは1500万円を想定して下げたが、今回は700万円前後と見ている。それで3年間新制度までの間対応したいと考えている。

今年は高額療養費がどんどん増えている年にも当たっており、基金は貯め込みと見ず、目的を持っていると受けとめてほしい。

質問 新制度上で、国保病院への影響はあるのか。

医療保険室長 さわうち病院は地域包括医療で重要視されている。町としては、医療や介護の資源があることが財産となるが、経営は別だ。経営では病院の公営企業制度の中で努力してもらうこともあるし、不採算地域の病院なので、保険者として、そういった支援は惜しまない形を取る必要があると思う。中部医療圏の中での健全経営化計画含め、自治体の運営判断が求められる。

【そのほかの質問】

- 高齢者や障害者の冬期間の居住対策
- 町立西和賀さわうち病院の運営
- 県道1号線泉沢区内の道路整備調査の確認と国道107号トンネル化の要望

髙橋　和子 議員

質問

西和賀高校魅力化を大胆かつ効果的に進めるには

町長

魅力ある現状を訴え、多くの人に分かってもらう努めが必要

西和賀高校の授業のようす。皆さん真剣に学んでいます。

西和賀高校入学生の人数

質問 **平成27年度の西和賀高校入学生の数に対しての考えを伺う。**

教育長 募集定員80人に対し25人というショッキングな数字だ。これを受け、存続に対する取り組みを強化しつつ、より実効性のあるものにして行かなければと意を強くした。

西高は非常に魅力の高い学校だ。進学や就職実績も明らか、実際に入って3年過ごした卒業生の評価を聞いても明らかだ。これが正しく伝わっていないこと、少子化の要因も大きいと思う。

町長 地元の中学校からの確保が第一だが、生徒数の減少から、北上市の中学生に入ってもらえることを目標にやってきた。西和賀高校の素晴らしい魅力ある現状を訴える回数を増やし、より多くの人にわかってもらうことの努めが必要ということに限ると思う。

魅力化推進委員会の方向

質問 **西和賀高校存続対策委員会から、魅力化推進委員会への変化、設立当初からの状況を見ると、委員会のあり方を検討する時期と考えるがいかがか。**

教育長 魅力化推進委員会と名称を変えても、目的は、いかにして入学者数を確保するかの一点に尽きると思う。

今後とも高校側との対話や情報交換を密に保ちながら、教育方針や内容、高校が考える地域貢献の方向性、町として高校に期待したいことなど相互に理解を深めつつ、必要な支援を行っていくことが重要であり、そのコーディネートを担うのが魅力化推進委員会と考えている。

そのために最適な組織体制として改変が必要であるならば随時見直しを図りつつも、基本的な役割は変わらないと考える。

町長 今後、数値的にかなり厳しい状況の中で、具体的にアクションをどう起こすべきかという中身の協議を深める、そのためのメンバー構成をどうするかは検討してしかるべきかなと思う。

質問 **魅力化推進委員会の活動を更に進めていく必要があると思う協議する場を設けて頂きたい。**

町長 魅力化推進委員会の中身を検討する、何をやるかという具体的な詰めまでを協議して提案していくのも大事かと思う。

教育長 今までやってきた支援の方向性は間違っていないという事を自信を持って継続していきたい、組織とかそういったところに手を入れる必要があれば議論して検討もしていきたい。

刈田　敏 議員

質問

任期後半の町政についての考え方は

町長

生命尊重行政の徹底と、産業振興による経済力の向上を目指す

平成27年８月26日に行われた地域起こし協力隊と語る会のようす

細井町政2期目の総括

質問 細井町政2期目、4年間の前半戦はどのようにご自身で総括をしているのか伺う。

町長 目標にしてきたものは、それぞれの時点において達成しているが、その次に新たな課題が見えてくる。達成したから終わりということではなく継続的に取り組んでいかなければならないと考えている。特に集中的に取り組もうとしている事業については、いずれの課題についても種まき、そして芽出しはできた、今後はその芽を花開かせ、その都度出てくる課題に対して精力的に向き合うという課題が今後残る。

地方創生にあたっての所見

質問 西和賀町においても本格的に始まる地方創生にあたり、町長の所見を伺う。

町長 人口減少の中においても、この地域を継続するために、定住・交流人口を増やしながら、経済効果を持って、できるだけ衰退を避ける取り組みを企画している。基本は、地域財産を活用した地域づくりである。自分たちの足元を固め、足元以外のところのノウハウや力を作用させて、この地域の将来に向かう創生を図っていきたい。

質問 総合戦略では、5つの基本目標に具体的施策が計画をされ、5年間での取り組み目標指標も計画されている。全体計画の工程表など具体的施策をどのように実現するのかということがないというふうに感じられるが。

企画推進課長 具体的な施策は、本年度から事業に入っているが、28年度から本格的に実施される。現在、予算編成作業を行っているので、それと合わせながら検討していく。総合戦略は平成31年度までの5カ年となっており、全体的な方針をできるだけ早く固め、優先して取り組むべき事業や方向性を確認しながら進めていきたい。それぞれの役割分担、具体的な目標設定などを踏まえて、町全体として地方創生、人口減少問題に取り組んでいくということを具体化していきたい。

質問 地域おこし協力隊の現状の受け入れ体制に問題はないか、またその中で問題は起きていないか。

企画推進課長 いろいろな悩みや、トラブルはある。今後の取り組みということで、意向調査をしているが、かなり具体的な形の提案もあるので、改善要求等も含めて今後、すぐできるところはすぐ、来年度ということであれば、来年度から対応していきたい。

淀川　豊 議員

質問

大豆、ソバの乾燥機導入は必要不可欠では

早急に検討し、建設に向け協議したい。

町内の大豆収穫作業のようす。
新たな収入源として期待される分、施設整備も必要です。

佐々木孝道 議員

大豆・ソバ乾燥調製施設の必要性

質問 大豆・ソバの乾燥機が無いため、農家は北上まで運んでいる。農家の負担を軽減するためにも、乾燥機導入は必要不可欠ではないか。

農業振興課長 本町の大豆栽培は、ここ数年で急激に伸びてきている。当初は耕作放棄されそうな水田や条件の悪い水田を地域で守っていく観点から始まった。町が機械を整備し、山の幸王国が主要作業を行ったことで、十分採算が取れることも分かった。所得向上の意味でも大豆は重要な位置にあると考えている。

西和賀には大豆の乾燥調製施設が無く、収穫した大豆は収穫者が北上市の施設まで運搬し処理しており、農家の負担となっている。これを鑑み本町内に大豆の乾燥調製施設は必要なものと考えている。しかし、施設建設には費用や採算など多くの課題がある。施設規模、建設主体や運営方法等を早急に検討し、建設に向け協議していきたいと思う。

質問 新そばまつりなど、観光面から見ても乾燥機導入は大変有益であり、農業全体が潤うチャンスと思うが。

町長 担当課長の所見からも必要と述べているように、課題をどのように克服できるかを含め議論をする必要があると思う。

防災に関する準備意識

質問 11月25日にJアラートを全国一斉に訓練すると言っていたが、告知端末から流れなかった原因は何だったのか。

総務課長 10月に実施した湯田庁舎の自家用電気工作物の年次点検のため1時間ほど停電が続いた。Jアラートの受信機と告知放送をつなぐ自動起動装置の電源が落ちて、その後の復旧の点検が十分でなかった。

質問 スイッチの確認の段階であり人的ミスそのものではないか。

総務課長 今回を契機に日常的に点検あるいは、確認を徹底していきたい。

地方創生のポイント的切り札とは

質問 全国どこでも必死な思いで生き残りをかけて地域づくりをしている。ポイント的切り札という言葉にしたとき、切り札とは何か伺う。

町長 私は、単純にこれが切り札と言えるものは無いと思っている。一人ひとりの思いの積み重ねが町を作っていく、歴史を作っていくことから、これをやれば、どこにでも通用するというようなものは無いという思いで、今後の地方創生に臨まなければならないと思っている。

質問

西和賀高校の存在意義と、その経済効果は

経済効果は1億2795万円。物心両面で町民の支えになる

西和賀高校福祉情報コースの実習や校外研修の成果
来年度の研修等の実現に期待をします

髙橋　輝彦 議員

西和賀高校の存在意義

質問 西和賀高校が当町にもたらしている経済効果を数字で詳しく聞きたい。

教育長 直接的な経済効果として、就学関連で7079万円、部活動で1047万円、PTA関連活動として1076万円など合計で1億2000万円となる。間接的な効果として、地方紙2紙に掲載された西和賀高校関連記事を広告料として積算すると795万円という結果が出ている。

質問 西和賀高校の存在意義や価値をどのように考えているのか伺う。

教育長 町民にとっての存在意義は、地元に居ながら進学や就職、その他自分の将来を保証してくれる、自分の将来のために支援してくれる高校が身近にあることだ。町民にとっても、高校が地元にあることは、経済効果だけでなく物心両面で町民の支えになる存在だ。

質問 西和賀高校は今崖っぷちではないか。万が一、1クラス減となった場合、高校の先行きや生徒に及ぼす影響は。

教育長 直ちに出る影響は、教職員定数の減による教育の質の維持の困難化だ。これは現在魅力化事業のひとつである大学進学を見据えた指導体制が組めなくなる。事実上国公立大学等への進学が困難になる。部活動の指導者の配置や生徒の望む楽しく充実した高校生活も送りにくくなる。

質問 中学生の魅力となる施策が必要と思うが、いかがお考えか。

教育長 生徒の入学動機となり得る事業として、福祉関係の最先端の技術に触れたり、高等教育機関に学ぶ等の県外研修したり、来年度から実現できるよう調整を図っていきたい。

町長 地方創生の教育版として、都会で失った教育の重要な部分を地方の教育で補うということを呼び掛けたらどうかと思っている。そういう魅力の発揮ができないかと考えている。

質問 西和賀高校の存在意義を深く考え、どんどん意見を出し合わなければならないと思うが。

教育長 町民自身が西高を正当に評価することが重要だ。自分は卒業者でない、ご子息を別の高校に進ませたという方々が議論から一歩引いてしまう風潮がありはしないかと考える。

そういうことは関係なく、のちの世代の子供たちの選択肢に西高があるという状況を残していくという認識に町民の皆さんが立つことが重要ではないかと感じる。

質問

人口ビジョン並びに総合戦略の町民への周知方法を伺う

28年度の取組みが固まり次第、広報等で改めて周知する

企画推進課長

髙橋　雅一　議員

町内の行政区総会のようす。
このようなことをはじめ、様々な集落の自主的活動が必要です。

人口ビジョン並びに総合戦略

質問　集落再生・活性化に向けた取り組みについて伺う。

企画推進課長　住民の人口減少、高齢化に対する危機意識は高く、町の取組みとしてはU・Iターンの集落の受け入れ体制を重要視し、集落支援員の設置等により話し合いや集落点検等、集落活動支援を急ぐ必要がある。

集落毎の人口分析データ

質問　集落毎に人口分析データ・将来ビジョンと対策の周知が必要だと思うが。

企画推進課長　人口ビジョンの際に人口推計を各集落毎に作成し、厳しい状況となっているが、集落の自主的な活動を促しながら話し合いを進めていく。

質問　人口ビジョン・総合戦略について全職員が把握する必要があると思うが。

町長　住民に知ってもらうために、全職員が把握する必要があるということで、早急に全職員の研修、腹にしみ込ませる勉強会を実施する。

農地の保全並びに耕作放棄地対策

質問　農地の保全並びに耕作放棄地対策と農地に関係する組織の連携対策を伺う。

農業振興課長　農地の荒廃は生産活動のみならず景観にも大きな影響を与えることから、農地保全は大変重要だ。そのためにも地域の中で農地や担い手を緊急課題として話し合うことが一番重要と考えている。

農地に対する賦課金対策

質問　合併10年、農地の所有に対して地域間格差は解消されず特に旧沢内地区の農地に対する賦課金は世帯後継者や将来西和賀に戻るべき人の足さえも止める原因ともなり、町民均しく西和賀の農業を含めた将来に希望を持てるものに変える必要に迫られている。

町長　農業を含み、後継者をどう確保するということが大きな問題となっている。その中で、特にも農地を維持する制度、仕組み、法律あるいは条例の中で、それが負担になるような状況があれば、町内あるいは全国的な法律改正も含めて政治活動や運動をやっていかなければならないという課題があると思う。私たちが自分でできる範囲は自分たちで協議し、将来の方向性を見出しながら解決できるものは解決していくということが原則だというところは十分に認識している。

議会行動

平成27年9月定例会以降の議会公式行動

9月25日 町村議会議長会政務調査会「盛岡市」 議長、局長
30日 山形県河北町議会視察対応「沢内庁舎」 議長、議運正副委員長、町政調査会長、局長
10月1日 西和賀高等学校訪問「町内」 議員4人、事務局
2日 国道107号早期復旧・高速道路早期4車線化に係る要望「岩手河川国道事務所」 議長
3日 横手市市制施行10周年記念式典ほか「横手市」 議長
4日 水泳協会長杯水泳記録会「町内」 議長
6日 秋の交通安全功労者等表彰式「北上市」 議長
8日 住田町議会正副議長来庁対応「沢内庁舎」 副議長、局長
国道107号早期復旧・高速道路早期4車線化に係る要望「仙台市 東北地方整備局」 議長
11日 金ヶ崎町60周年記念式典ほか「金ヶ崎町」 副議長
西和賀町議会臨時会「議場」 議員全員、事務局
14日 国道107号早期復旧・高速道路早期4車線化に係る要望「東京都 国土交通省ほか」 議長
17日 岩手県緑化推進委員会植樹記念式「町内」 議長
24日 湯田中学校文化祭「町内」 議長ほか
沢内中学校文化祭「町内」 議長ほか
25日 西和賀農業まつり「町内」 議長ほか
26日 子どもの夢を叶えるために～進路講演会「町内」 議長ほか
29日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練「北上市」 議員4人、事務局1人
30日 宮城県仙南地方及び亘理地方地方町議会議長会視察対応「沢内庁舎」 事務局
奥羽横断駅伝競走大会開会式・レセプション「町内」 議長
31日 湯田小学校学習発表会「町内」 議長
沢内小学校学習発表会「町内」 議長
11月1日 合併10周年記念式典・記念講演「町内」 議長ほか
5日 盛岡横手線道路整備促進期成同盟会通常総会「町内」 議長
自由民主党県支部連合会市町村重点要望調査「湯田庁舎」 議長
6日 民主党県総支部連合会市町村重点要望ヒアリング「湯田庁舎」 副議長
小中学校音楽発表会「町内」 議長ほか
まち・ひと・しごと創生講演会「湯田庁舎」 議長ほか
8日 婦人連絡協議会10周年記念大会・祝賀会「町内」 議長
9日 農事組合法人高下 設立総会「町内」 議長
岩手県道路整備促進総決起大会「花巻市」 議長
10日 今後の県立高校に関する意見交換会「花巻市」 議長ほか
政務調査会、県選出国会議員との懇談会「東京都」 議長、副議長、局長
11日 政務調査会研修会、町村議会議長全国大会「東京都」 議長、副議長、局長
12日 県南地区町議会議長会正副議長・事務局長行政視察研修「群馬県」 議長、副議長、局長
13日 西和賀町政策研究会「沢内庁舎」 議員11人、事務局
15日 丸志田公民館・青年会館創立80周年記念祝賀会「町内」 議長
16日 西和賀交通安全緑十字会総会「町内」 副議長
岩手中部クリーンセンター並びに遠野中継センター落成祝賀会「北上市」 議長
18日 秋田県藤里町議会視察対応「町内」 議長
20日 西和賀のタベラヒルトン東京お台場「東京都」 議長
21日 雫石町60周年記念式典並びに祝賀会「雫石町」 議長
23日 西和賀町商工業優良経営者・優良従業員表彰式並びに事業後継者・新規学卒激励会「町内」 副議長
25日 岩手県町村議会広報担当者研修会「ホテル紅葉館」～26日 広報常任委員、事務局
26日 主要地方道花巻大曲線 花巻・沢内間の整備促進を求める要望「衆参議院議員会館、国土交通省 ほか」 議長
28日 平成27年度西和賀町PTA連合会研究大会「銀河ホール」 議長
107号通行再開セレモニー「道の駅錦秋湖 付近」 産建常任委員長
30日 雫石町・西和賀町両議会議員交流研修会「雫石町」 議員10人、事務局
12月1日 学校地域公開学校訪問「町立小中学校」 議員9人、事務局
交通安全の集い2015「北上市」 議長
6日 消防団第五分団第一部消防小型ポンプ・積載車入魂式ほか「町内」 議長ほか
9日 消防関係者懇親会「町内」 議長
西和賀町政策研究会「沢内庁舎」 議員11人、事務局
14日 知事を囲む懇談会「盛岡市」 議長

議会内部の会議は省略しています。また、行事名も一部省略しています。

このように使いました
議長交際費をお知らせします

（平成27年9月9日～12月15日までの内訳）

お祝い	3件	1万1000円
会費	11件	4万6000円
お悔み（花輪なども含みます）	3件	4万5000円

【お詫びと訂正】

●西和賀町議会だよりNo40（平成27年10月23日号）の15ページ、佐々木孝道議員の【そのほかの質問】で、「湯田町史、沢内村史完結編の発行状」と書いていますが、**「湯田町史、沢内村史完結編の発行状況」**の誤りです。お詫びして訂正します。

議会だより 読者からのコメント

議会だより紙上クイズで寄せられたコメントを掲載します。

◆忙しいと、なかなか光放送が聞けない時が多いので、議会だよりを楽しみにして待っています。これからも詳しく教えてください。（若畑の方から）

御意見と御感想をお待ちしています

西和賀町議会だよりでは、「読みやすく、わかりやすい議会広報」を目指して編集に取り組んでいますが、皆さんからのご意見やご感想に耳を傾けながら、よりよい議会広報づくりに心がけていきます。

電話は85-3416・FAXは81-2008です。

広報編集常任委員会

「伝わる・読みたくなる広報」を目指して

平成27年度全国町村議会広報研修会のようす。
参加者全員、熱心に学んでいます。

平成27年10月20日～21日にかけ、東京都千代田区の砂防会館別館　シェーンバッハ・サボーで平成27年度全国町村議会広報研修会が行われ、広報編集常任委員会（委員長　淀川豊議員）から淀川豊委員長と佐々木孝道委員２人が参加しました。

研修会には、全国の町村議会から広報編集に携わる委員や事務局職員など、１０００人あまりが参加しました。

研修会の講師は、柏崎市広報専門官の小田順子さん、一般社団法人地域活性化センター広報室長の畠田千鶴さん、議会広報サポーターの芳野政明さんです。講演では「伝わる広報」・「読みたくなる広報」を目指して広報の見出しから読者である住民の皆様を引き付ける編集手法を全国広報コンクールの入賞広報を事例に学んできました。

研修を受けて

広報編集常任委員長　淀川　豊

全国町村議会議長会主催の議会広報研修会に佐々木孝道委員と参加してきました。私は、これまでに４回ほど参加していますが、内容も年々変化していることを肌で感じることができる研修でした。

議会の情報公開ということで議会だよりの紙面を使い情報を発信していますが、住民の皆さんが何を求めているのか、感じているのかという広聴活動を充実させていくことで西和賀町議会だよりも「伝える広報」から「伝わる広報」を目指していかなければならないという大きな方向性を授かった研修となりました。

２回目の学校訪問

町内小中学校を訪問

先生の話を熱心に聞く沢内小学校の児童

総務教民常任委員会（委員長　刈田敏議員）では、平成27年12月１日に西和賀町校長会（会長　白石健也湯田小学校長）が行っている「学校地域公開日」にあわせ、学校訪問を行いました。

この事業は、総務教民常任委員会の活動の一つとして毎年実施しているもので、今回は、校内行事等と重なった湯田中学校を除く3つの町立小中学校を訪問しました。

当日は、議員11人が参加し、各学校で子どもたちの授業の様子を見学後、校長先生らと懇談をしました。

懇談では、それぞれの学校で独自に取り組んでいることなどについて説明を受け、各学校の状況を把握することができました。

子どもたちの教育環境の向上を考えていくために、今後も継続して訪問することとしています。

雫石町議会議員との交流会

雫石発、匠の技術を学ぶ

工房のようすを視察する両町議会議員

平成27年11月30日に雫石町を会場に、雫石町議会と西和賀町議会の合同交流会が行われ、両議会から議員25人が参加しました。

今回は、雫石町にある盛岡セイコー工業株式会社を訪れ、世界に誇る高級腕時計の工房を見学しました。

盛岡セイコー工業株式会社の方から概要や製造品の説明を受け、工場内にある雫石高級時計工房の見学を行いました。工房では、細かな部品を顕微鏡で組み立てる一流の職人技を拝見し、一同感動して工房を後にしました。

その後、会場を雫石町立中央公民館に移し、それぞれの議会の情報交換を行い、４回目の研修会を終了しました。

来年度は、西和賀町を会場に相互の情報を交換し合い、交流を深めることにしています。

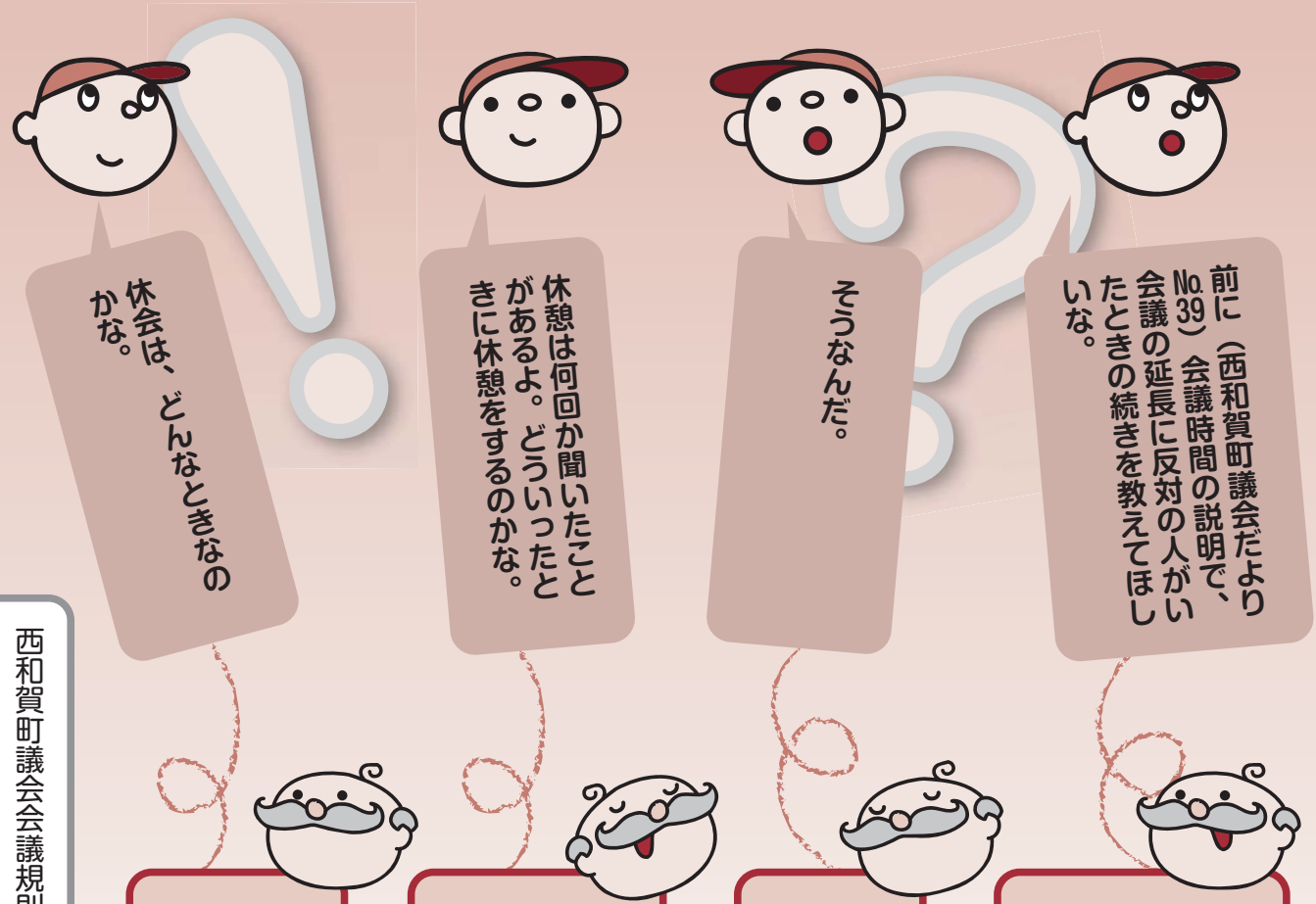
知ってるようで知らない 議会deお勉強!?㉑

今回は

延会・休憩・休会

についてじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。



ふむ。会議時間を変更しても議事が終わらないときの話じゃな。そうなったとき、議長は討論をしない会議に諮って、その日の日程を後日に延ばして会議を閉じるんじゃ。これを延会というんじゃよ。
延会が決まったら議長が皆に宣告するんじゃ。

延会のほかにも、会議中は審議の状況によって、休憩や休会という措置をとることがあるんじゃ。

休憩は、会議を再開することを前提に一時的に中断することを言うんじゃ。例えば、会議中に急に資料の配布が必要になったときや会議中に定足数を欠く状態になったときなどじゃな。

ふむ。休会は議会期間中に活動を一時停止するときを言うんじゃ。例えば、日曜・休日のときやその他必要になったときに議会で議決をしたときなどじゃな。

西和賀町議会会議規則は西和賀町公式ホームページで見ることができます。
ホームページを見ることができない人は西和賀町議会事務局（☎㉟3416）にお問い合わせください。

シリーズその後を追う㉘

〔このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします。〕

あの課題はどうなった？

子育ての一助に

児童生徒医療費助成制度が始まっています

経　緯

西和賀町では、合併前から0歳から6歳（小学校入学前）までの子どもの医療費を助成する乳幼児医療費給付事業という制度を行っています。

しかし、近年、全国や県内の情勢を見ると、人口減少対策のひとつととらえ、小学校を卒業するまで、高校を卒業するまでなど制度の充実を図っています。

⇩

議会では

子育てをしやすく、若い人が安心して働けるよう、対象者を小学校卒業までにするよう制度の拡充を一般質問などを通じ提案してきました。

これに対し、当局は「乳幼児医療費給付は岩手県と町で半額ずつ助成しているもので、対象を広げるとしても財源が確保できない限り難しい。」との答弁がありました。

⇩

結　果

要望や提言を受け、町は子育て支援を充実させることや財源が確保できたことから、小学１年生から18歳までを対象とした児童生徒医療費給付事業を平成27年度から始めました。

また、乳幼児医療費給付事業の内容も見直し、所得状況による給付制限や受給者の一部負担を撤廃し、西和賀町に住所がある全ての子どもの医療費を無料としました。

ここまで拡大されました。子どもの医療費給付事業

◆対象は

小学１年生になった４月１日から18歳に達した日の属する年の３月31日まで

◆給付の対象は

病院・診療所・歯科診療所・薬局などにかかったときの医療費

◆保護者の所得制限は

ありません

◆給付を受けたいときは

保健福祉課に申請をします。

申請には、印鑑・子どもの保険証・医療費の還付先が分かるものが必要です。

◆問い合わせ先は

西和賀町　保健福祉課

（☎85-3412まで）

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.41

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.27

西和賀高校吹奏楽部

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

西和賀高校吹奏楽部は、現在12人の部員で、放課後や休日に練習に励んでいます。常にしっかりした演奏を行うため、１音１音を確かめる基礎練習や呼吸をつかむブレストレーニング、周囲の音の雰囲気をつかむグループ練習などをしています。

平成27年12月22日に行われた全日本アンサンブルコンテスト北上支部大会では、２グループに分かれ出場し、それぞれ銀賞と銅賞の成績を修めました。

全員での練習。１音１音ていねいに出すよう頑張っています。

佐々木流風（ささきるか）さん
（２年・前郷）

昨年８月に部長になりました。初めてのことが多く、不安を感じたことや、指示が通らないこともありますが、私自身音楽が大好きなので、自分も楽しんで、その楽しさが部員や演奏を聴く人にも伝わるように、引っ張り頑張っていきたいです。

泉川みずき（いずみかわ）さん
（２年・大野）

高校から吹奏楽を始めて、先輩方の出す音を目標にし、３年生の先輩方が引退してからは、自分らしい音を探して練習に励んでいます。

今年は自分が担当するフルート以外にピッコロも担当するので、定期演奏会やコンクールに向けて技術を向上させていきたいです。

吹奏楽部より

今後の演奏会予定は、
- ３月19日（土）北上支部春の演奏会
- ５月21日（土）西和賀高校吹奏楽部定期演奏会です。是非、聞きに来てください。

まなが～く「生涯現役」です (26)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます

柳沢老人クラブ北陽会　会長
髙橋仁平（たかはしじんぺい）さん
（87歳・柳沢）

私たち柳沢老人クラブ北陽会は、昭和39年に設立されました。当初は、加入年齢を62歳としていたようですが、現在は60歳としており、31人が加入しています。しかし、老人施設などに入所する会員や遠隔地にいる親類のところで過ごす会員が増え、年々少なくなっていることが残念に感じます。

主な活動は、あやめ公園の草取りや手入れ、お盆の際、行政区内にある共同墓地の掃除などを行っています。体の動ける人が行っているため、参加できる人が限られてしまいますが、各々できることを精一杯することが大事と考えます。

また親睦を図るために公民館で花見会を行っています。このときは、公民館まで来れない会員を、近所の会員が会場まで送迎し、みんなで一緒に楽しめるようにしています。

柳沢区は集落が点在しており、一人で暮らす方も多い行政区ですが、さまざまな活動を通じ、親睦を深めがら今後も活動できればと思います。

平成27年９月13日に行われた柳沢地区敬老会のようす

暫時休憩

新年おめでとうございます。年末年始と慌ただしく時間が通り過ぎた様な気がします。

暖冬で雪が異常に少なく、今後さまざまな面での影響が心配されますが、この議会だよりが出る頃には西和賀らしい景色に戻っていることでしょう。

さて、広報編集常任委員になり、様々な研修や勉強会に参加させていただきました。慣れないこととはいえ、事務局におんぶに抱っこの状態は、まだまだ続きそうです。

見やすく読みやすいことは勿論ですが、日々の生活に役立つ情報を提供したいと思っております。

広報編集常任委員
髙橋　到

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　淀川　豊
副委員長　髙橋　和子
委員　深澤　重勝
〃　佐々木孝道
〃　髙橋　到

発行日／平成28年1月25日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市

発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　淀川　豊
〒029-6902　岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL0197(85)3416 FAX0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK